

# 第2回クーラウ・フェスティバル 2015 in Tokyo

2015年10月10日(土) 会員演奏会

入場無料※整理券制 12:00~16:00・17:00~21:00

## 銀座《王子ホール》

地下鉄 銀座駅下車 A12 出口から徒歩1分

### 第一部

ご挨拶 石原 利矩

1 Ishihara / Japanese 4 Seasons 青山フルートインスティテュート / 指揮: 石原 利矩  
 鮎澤 理恵、井清 真弓、伊藤 敬子、植竹 里奈、上野 京子、小川 美沙、小野 宏子、葛西 よう子、岸 朋子  
 木村 真諭紀、久慈 弥重子、河野 洋子、幸淵 裕美子、小島 邦雄、近藤 美津江、坂井 直子、坂本 園子、佐藤 晶子  
 佐保田 理恵、塩澤 直緒、城谷 千保、田頭 ゆかり、高村 玲子、徳植 俊之、中村 和正、成瀬 忠、二見 仁康、米山 典子

2 Kuhlau-Briccialdi / Duo 松浦 真穂・渡邊 綾子 / Pf. 村中 直

3 Kuhlau/ Op.102-3-III 井清 真弓・幸淵 裕美子

4 Kuhlau/ Op.13-2 羽田 友紀子・岩田 聖也・古城 直美

5 Kuhlau-Ishihara/ Lulu Suite 高倉 直子 / Pf. 垂野 鮎子

6 Kuhlau/ Op.88-3 梨木 泉

7 Kuhlau/ Op.80-2-I 大橋 利奈子・水越 八千代

8 Fröhlich/ Sonate c III&IV 塩澤 直緒 / Pf. 塩入 加奈子

9 Kuhlau/ Op.13-1 西川 一也・瓦田 成美・谷原 いづみ

10 Kuhlau=Dombois/ Op.51-1bis, I&IV 高安 由美子・渡辺 千佳子 / Pf. 市川 恵美

11 Beethoven/ Op.25 Serenade 長田 恵美子・Vn. 久岡 めぐみ・Va. 牛山 千史

12 Kuhlau/ Op.101-1 Duo 酒井 秀明 / Pf. 伊吹 このみ

13 Kuhlau/ Die grosse Zeitmeister あじさいの会

上野 京子・桂川 達郎・岸 朋子・木村 真諭紀・小島 邦雄・近藤 美津江・田中 豊・徳植 俊之・成瀬 忠・米山 典子

14 Kuhlau/ Op.90 I&IV 松浦 美恵子・亀田 晶子・鮎沢 理恵

15 Weyse/ Rondeau 近藤 美津江 / Pf. 塩入 加奈子

16 Kuhlau/ Op.104 中村 久美子 / Pf. 磯辺 綾子

17 Kuhlau/ Op.85 中村 和正 / Pf. 家城 順子

18 Mozart/ K.304 新井 力夫 / Pf. 柴田 菊子

19 Kuhlau-Hari/ Op.119 Op.119 Members / 編曲&指揮: 播 博  
 酒井 秀明、フィリップ・ユント、ヘンリク・スヴィッツァー、ジネヴラ・ベトルッチ、立花 千春、アンドラシュ・アドリアン  
 荒巻 淳、小島 邦雄、小林 真奈、齋藤 静佳、佐々木 親綱、城谷 千保、白井 かな、白銀 ゆか、松本 彩希、根岸 莉々、米山 典子  
 Pf. 齋藤 亜都沙

### 第二部

20 "クーラウ時代のフルートとその演奏" A. ブストラウク / 通訳: 酒井 秀明

21 Kuhlau-A.L.Christiansen/ ソナチネ Op.20-2 指揮: H. スヴィッツァー  
 石原 利矩、井清 真弓、小野 宏子、葛西 よう子、河野 洋子、佐藤 晶子、塩澤 直緒、城谷 千保、山田 明子

22 Fröhlich/ Divertissement 徳植 俊之 / Pf. 柴田 菊子

23 Kuhlau-Ishihara/ Tryllharpn Fantasy 笛吹くず〜ら / 編曲&指揮: 石原 利矩  
 畔柳 香里、畔柳 千枝子、飯田 直美、井草 厚子、岩崎 真澄、遠藤 しのぶ、大橋 利奈子、岡村 美香、小川 美沙  
 小澤 節子、小澤 知子、勝沢 朝子、河合 文子、川崎 あけみ、佐々木 結宏、鈴木 友恵、鈴木 伴枝、多雲 仁子  
 名和 市郎、伴 奈保美、松山 真穂、水越 八千代、宮本 敦代、村中 直、渡邊 綾子、Pf. 小泉 美佐子

24 Kuhlau/ Op.63"Euryanthe" Variationen 植竹 里奈 / Pf. 吉田 幸央

25 Kuhlau/ Op.102-2 西川 一也・米山 典子

26 Adam/ Bravour-Variationen 植竹 里奈・Sp. 齋藤 青麗 / Pf. 吉田 幸央

27 Kuhlau/ Op.80-1 瓦田 成美・谷原 いづみ

28 Kuhlau/ Piano-Variations Op.62-1 鷺宮 美幸

29 Kuhlau/ Op.51-2-I, III, IV 米山 典子  
 vn 阿久 津聡子・va1 宮野 路子・va2 町谷 弥加・vc 沼田 玲子

30 Kuhlau/ Op.79-1 立花 千春 / Pf. 鈴木 奈津子

31 Kuhlau/ Op.64-II ベトルッチ / Pf. 浅野 麻耶

32 Marco Hertenstein/ Metamorphosen "Agnetes Traum" ユント / Pf. 鷺宮 美幸

33 Kuhlau/ Op.105 スヴィッツァー / Pf. 齋藤 亜都沙

34 Kuhlau-P.H.Camus/ Op.33 アドリアン / 垂野 鮎子

35 Canthal/ Elverhøj Potpourri 全員合奏 / 編曲&指揮: 石原 利矩  
 出演者全員&池谷 智子・鬼塚 美緒子・川崎 厚・佐々木 親綱・高橋 由江・古川 文信



A. アドリアン



Fr. クーラウ



A. ブストラウク



Ph. ユント



G. ベトルッチ



H. スヴィッツァー



酒井 秀明



立花 千春



## 石原 利矩 Toshinori Ishihara

1864年国立音楽大学卒業。1966～68年ウイーン留学。1968年3月ウイーン国立音楽アカデミー卒業。1968年9月、東京でデビューリサイタルを開催。1964～1982年NHK交響楽団に在籍。1980～2005年、国立音楽大学でフルート科の教鞭を執る。フルーティストとして活躍を続ける傍らデンマークの作曲家、フリードリヒ・クーラウの研究を永年続け、日本においてクーラウの作品（知られざるオペラや戯曲を含む）を数多く紹介している。IFKS会長ゴーム・ブスク氏との共編「クーラウ・ピアノソナタ曲集（全4巻）、ピアノ変奏曲集（全3巻）は世界初として内外の注目を集める。現在インターナショナル・フリードリヒ・クーラウ協会の理事長をつとめている。



## アンドラシュ・アドリアン András Adorján

ブタペスト生まれ。コペンハーゲンで育ち、1974年よりミュンヘン在住。歯科学を学びディプロマを取得。フルートをA.ニコレ、J.P.ランパルに師事、研鑽を積む。68年コペンハーゲンで行われたJacob Gade Prizeとモントルーで開催された国際コンクールで優勝後、71年パリ国際フルートコンクールで第1位を獲得。これを機にソリスト、室内楽奏者、オーケストラ奏者として国際的に活躍。70年から87年の間、ストックホルム、ケルン、バーデン＝バーデン、ミュンヘンの各オーケストラの首席奏者を務め、87年よりケルン音楽大学教授、96年からはミュンヘン音楽大学教授を歴任。また数多くの音楽祭にもゲストとして招かれている。作曲家から曲を献呈される他、自らもフルートのレパートリーの開拓に積極的に取り組んでいる。2009年に出版されたフルートに特化した百科事典「Lexikon der Flöte」の編纂も行っている。これまでに100以上の録音を発表し、88年にはドイツ批評家賞を受賞。



## フィリップ・ユント Philipp Jundt

フィリップ・ユントはフルートの手ほどきを笠井潔、オーレル・ニコレに受け後にミュンヘンでアンドラシュ・アドリアンに師事する。ミュンヘン大学で経済学を修得し、ボストンのハーバード大学で修士号を得る。若き作曲家たちの親交から多くの作品が彼によって演奏される。マルコ・ヘルテンシュタインもその1人である。チューリッヒのトンハレ交響楽団を始め世界の著名なオーケストラとの共演をしている。今年4月サントリー大ホールで行われたニュー・チューリッヒ交響楽団とのロドリゴのフルート協奏曲で聴衆を魅了した彼の演奏は記憶に新しい。多くの国際的なフェスティバルのゲストに招かれ活躍し、演奏の傍らドイツのワイマール音楽院、韓国の江南大学でフルートを指導し、2012年から韓国フルート教育協会の理事を務めている。



## ヘンリック・スヴィッツァー Henrik Svitzer

ヘンリック・スヴィッツァーはフランス・アメリカ流派のフルーティストで、スカンジナビアの有名なフルーティストおよび指導者の一人です。彼はデンマーク王立音楽院でポール・ビルケランドに師事した後、アメリカでマルセル・モイーズ、トーマス・ニューフィンガー、ジュリアス・ペーカーに師事し、1986年カーネギーホールでデビューしました。彼はコペンハーゲン・フィルハーモニー、デンマーク王立交響楽団のソロフルート奏者を務めました。多くの国際コンクールで入賞し輝かしいソリストの道を歩みました。多くのCD録音、ラジオ、テレビ出演をし、世界中でマスタークラスを行い、いろいろな国際コンクールの審査員を務めています。現在はスヴィッツァー出版社のディレクターであり、デンマーク・フルート協会の会長をしています。



## ジネーヴラ・ペトルッチ Ginevra Petrucci

1989年、イタリア・ローマに生まれる。父で高名なフルーティストのジャン・ルカ・ペトルッチの手ほどきでフルートを学び2006年、16歳で聖チェチリア国立音楽院（ローマ）を卒業。2006年、パリ・エコールノルマル音楽院に留学。2008年、同音楽院卒業。2010年よりイェール大学音楽院（コネチカット州）にてランサム・ウィルソンのもとでフルートを学び2012年5月、同大学音楽院にてフルート修士号を取得。これまでに、イタリア、フランス、ドイツ、ベルギー、スイス、スペイン、アメリカ、イスラエル、トルコ、チュニジア、ブラジルの各地でソロ・リサイタルを行った。2012年11月及び2013年11月に来日し、東京にてリサイタルを行う。2013年11月ニューオーケ・カーネギーホールにデビューし、リサイタルを行う。現在は、欧州各地でのコンサートの他、スイス、アイルランド、スペイン、ギリシア、フランス、そしてイタリアの音楽院のマスタークラスに招かれ、演奏及び教鞭をとっている。



## アンネ・プストラウク Anne Pustlauk

アンネ・プストラウクは古楽器の演奏に力を注いでいます。レナーテ・グライス＝アルミン教授にフルートを、バルトルド・クイケン教授にトラヴェルソ・フルートを師事した後、現在19世紀を中心に演奏されたキー付きフルートやそのフルートのタイプを芸術博士号のため焦点を合わせて研究しています。この楽器の歴史的演奏技法やピアノと弦との室内楽のレパートリーの彼女の広範な研究はこの分野の数少ない専門家の一人です。彼女はリュッツェルの王立音楽院でフランク・テウンスのアシスタントを務めており、ソロ活動の傍ら、例えば有名なラ・プティット・バンドやアニマ・エテルナなどとの共演も定期的に行っています。彼女はフランダース科学研究（FWO）基金の候補者です。



## 立花 千春 Chiharu Tachibana

仙台市出身。パリ国立高等音楽院、エコール・ノルマル音楽院等を、全てプルミエプリ（第1位）にて卒業。1995年第7回日本フルートコンベンションコンクール、アルル国際室内楽コンクール（フランス）、イタリア「シリクス」国際フルートコンクールなどで全て優勝。水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラへの参加等、様々な演奏活動を展開している。CD「Density21.5」「RAVEL」（CAFUA）、「Crystal Breath」（EM）、「石あそび」、「立花千春のディズニーマ曲集」（YMM）などがあり、その「輝く音色」と「ダイナミックな演奏」が大変評価されている。最新CD「Tresor」「La Vibrey」（Florestan）の2枚を同時発売。フレンチスクールにおける知られざる作品や、19世紀作のルイ・ロットの魅力を存分に発揮していると好評を博し、レコード芸術にて特選を得る。出版物には「立花千春のフルート教本」（YMM）、「煌めきのフルートデュエット」（ALSO）などがある。現在、洗足学園音楽大学、上野学園大学、日本大学芸術学部、各非常勤講師。



## 酒井 秀明 Hideaki Sakai

北海道札幌市出身。吉泉清志氏、松原悠久氏に師事。札幌西高校から国立音楽大学に入学。石原利矩氏に師事。1977年同大学を首席で卒業。同年デトモルト北西ドイツ音楽院に留学し、パウル・マイゼン教授に師事。1979年ミュンヘン国際音楽コンクールで第3位入賞（1位なし）。その後、ミュンヘン国立音楽大学マスター・クラスに移籍し、1983年に大学院修了。同大学講師となる。同年ジュネーブ国際音楽コンクールで第2位（1位なし）入賞。1984年1月「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団と共演。同年からフィルハーモニア・フンガリカのソロ・フルーティストとなり、ヨーロッパはもとより世界各地で活躍。1995年に帰国。洗足学園音楽大学准教授に就任。ソロ、室内楽の演奏活動と同時に、日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール、かながわ音楽コンクール、みえ音楽コンクール、仙台フルートコンクール等国内のコンクール他、神戸国際フルートコンクール、ニールセン国際コンクール、ジュネーブ国際コンクール、ニコレ国際フルートコンクール等国外のコンクールの審査員も務める。現在、日本フルート協会副会長、洗足学園音楽大学客員教授。

## インフォメーション：

第2回クーラウ・フェスティバルは2日間に亘りそれぞれ別の会場で行われます。初日（10/10）は本日の会員のコンサートです。2日目は翌日（10/11）第一生命ホールにて行われる戯曲『妖精の丘』の演奏会です。14時開演、17時終演。クーラウは多岐にわたるジャンルで作品を残しています。中でもフルート曲やピアノ曲はよく演奏されるものとなっていますが、劇場作品はあまり知られていません。クーラウの真価は劇場作品にあるとゴーム・ブスク博士（クーラウ協会会長・デンマーク在住）は言っています。二日間をクーラウの世界に浸り素晴らしい時間をお過ごし下さい。